

令和元年7月28日
公立大学法人首都大学東京

メール送信に関する事故について

産業技術大学院大学において、メール送信に関する事故が発生しましたので、お知らせします。

関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

1 事故の概要

産業技術大学院大学管理部の職員が、同大学主催の「AIIT シニアスタートアッププログラム」事業の募集案内を過去の説明会の参加者等86名に対してメール送信した際、同86名分のメールアドレスを **Bcc** 欄に入力すべきところ、誤って **To** 欄に入力して一斉送信したことにより、同86名が相互にメールアドレスを閲覧できる状況となった。

(1) 発生時期

令和元年7月27日（土）18時15分

(2) 流出した個人情報

メールアドレス（86名分）

※AIIT シニアスタートアッププログラム

本プログラムは、起業に挑戦するシニア層や中小企業の後継者のための学びの場として、起業に必要な知識及びスキルを短期間で修得できるよう、大学院教育（修士課程）レベルでの学び直しのためのプログラムを提供するもの。

2 経緯

(1) 上記1のとおり、令和元年7月27日（土）18時15分に、担当者が募集案内メールを送信した際、メールアドレスを **Bcc** 欄に入力すべきところ、誤って **To** 欄に入力し一斉送信した。

(2) 同日18時20分に、担当者が送信状況の確認を行った際に、誤って **To** 欄で送信したことが判明した。

3 事故発生後の対応

7月27日（土）21時7分に、対象者全員（86名）に対し、事象発生とお詫び、誤送信したメールの削除依頼について、電子メールを送付した。また、電話番号が判明している方（55名）に対しては併せて電話連絡を行っている。

4 発生の原因

外部へ一斉送信する際は、メールアドレスを **Bcc** 欄に入力すべきところ、誤って **To** 欄に入力したこと、また、宛先の形式の確認作業を複数の職員で行わなかったこと。

5 再発防止策について

下記の取組により、個人情報を含む情報の適切な取扱いについて職員に対しさらなる徹底を図り、再発防止に努めてまいります。

- ①最高情報セキュリティ責任者会議を緊急に開催し、再発防止に向けた情報セキュリティ対策の確認を徹底
- ②法人内に注意喚起の通知を発出
- ③外部の複数の宛先に対してメール送信する必要がある際には、**Bcc** 欄に入力していることを複数の職員によるチェックの徹底

※最高情報セキュリティ責任者会議

構成員は、最高情報セキュリティ責任者（法人事務局長）のほか、法人事務組織、首都大学東京、産業技術大学院大学及び東京都立産業技術高等専門学校の情報セキュリティ責任者で構成

問い合わせ先

○再発防止策について

公立大学法人首都大学東京総務部総務課
連絡先（直通 042-677-1154）

○事故発生の経緯について

産業技術大学院大学管理部管理課
連絡先（直通 03-3472-7832）